

アンケート結果から現状と今後の課題

2020年度PTA会長 佐藤秀峰

PTA活動に多大なご協力を頂き大変感謝しております。

皆様からのメッセージを読ませていただきました。

たくさんの“苦痛”“不安”“不満”を知りました。

逆に、やりがいや1年間の感謝のお言葉もたくさん頂きました。

『PTAが何をやっているのかわからない』というご指摘を頂きました。このアンケート結果が**現在の問題を共有**するきっかけになるのではないかと思います。

我々、保護者も様々な背景を持ち、様々な考え方を持っていることが改めてわかりました。お互いを尊重し合いより良い組織でありたいと考えます。

“親も楽しむ”ような組織じゃなければ持続しないですね。

私たちの組織です。

私たちの居心地がよい場所に変えていきましょう。

筆者が1年間で経験した実感とアンケート結果に基づいています。一部の方にとって不快に感じたり、認識が異なる点があるかもしれないことをご了承ください。また、現在そして今後の検討課題が多く含まれていることから不確定な要素が多いこともご理解頂けると幸いです。

[ご意見はこちらまで](#)

①保護者が子供たちのために“無理が無い範囲で”活動ができる場を作る

残念ながら多くの方がPTAに対して負のイメージをお持ちです。特にご経験が少ない方で多い傾向にあると言えます。PTA活動の実態が見えていないというご指摘も多く頂きました。各家庭の生活様式は多様化していると言われていています。共働き世帯が多くを占める現状においてPTAも多様化に対応すべきというご意見を頂いています。今まで言われてきた“公平”とは異なった価値観が求められているのかもしれませんがポイント制により公平性を維持していると思われていますが果たしてそうなのでしょうか。委員選出の方法、会議の時間や回数、委員長に負担が大き過ぎるという意見も頂いています。不公平だと感じている方のご意見も頂いています。多くの方が、無理が無い範囲で参加できる。という体制こそが公平と言えるのかもしれませんが。

楽しいことに公平に参加することができる

そんな考え方が楽しそうですね。
会議の数を減らす、学年代表は決めず仕事を分担制とする。などのアイデアを次年度に向けて準備しています。
そして、ベルマーク。委員の義務では無くボランティアとして継続する方法を計画中です。

<ディスカッションポイント>

- ・保護者の負担軽減のためにはどうすべきか
- ・公平とは何か
- ・行事毎に参加者を募る方式
(委員会の再編、縮小、廃止)
- ・ポイント制の是非

②保護者の代表として学校と問題を共有する

学校内での問題に対して教職員と情報を共有しながら**保護者の代表として発言をする**。そのような役割を期待する。という複数のご意見がありました。私たち本部役員にも皆さんを代表しているという自覚はあります。校内で生じた問題に対して学校からPTAへ相談や情報共有がされることは多くはありません。**個人情報保護**の問題もあり、**役員といえども保護者のひとり**であることから限界を感じました。

また、**保護者の声を集めるという活動ができていない**ことは今後の課題であると感じています。

卒業式に参列する保護者の人数や6年生の学年行事など、保護者の動きに同調して学校と交渉することができたことは保護者の皆さんにとってPTAの存在意義を確認する機会になったと思います。

多くの保護者が疑問に感じている欠席時の連絡方法などもPTAが学校と協議してもいいかもしれません。

<ディスカッションポイント>

- ・学校内の問題にどのように関わることができる？
- ・保護者の声をいかにまとめるか
(公平性、個人情報保護への配慮も必要)

③PTAの加入は任意です。

複数の問い合わせや質問を頂いています。

PTA規約には入会退会についての記載がありません。慣例的に入会が原則とされてきたPTAであるため未加入は想定されていないのだと思います。

PTAのあるべき姿は未加入によるデメリットを押し付けることではなく加入によるメリットを皆さんに体感して頂くことです。この点を明確としてあるべき姿を目指さねばなりません。

いうまでもありませんが未加入世帯のお子さんが差別的な扱いを受けることはあってはならないことです。

<ディスカッションポイント>

・PTA入会と退会について規約に明記すべき

④改革は必要

多くの方が変化を求めています。しかし、PTA役員の任期は1年。**任期内では思い切ったことはなかなかできないのが当然**です。これまでも**少しずつ改善**しています。その時の役員が知恵を絞り限られた枠内で。

このことは多くの保護者が実感することは少ないかもしれませんが。そのため、不安や不満が膨らむのも当然でしょう。

色々な意見があり議論の透明化も必要です。

改革のための**サポートチーム**をテーマ毎に組織して本部役員をサポートをする案はいかがでしょうか？

<ディスカッションポイント>

- ・どうすればみんながハッピーになれるのだろうか
- ・本部役員にお任せでいいのだろうか

⑤ICT化

印刷書類の削減や生活スタイル・リズムが異なる保護者がそれぞれのペースで活動するためにICT化は必須であると考えています。アンケートにおいてもICT化の推進が必要であるとお考えの方は多いです。PTAでは個人情報流出に備えた保険にも加入済みです。安全・安心を確保しながら便利な機能を使いこなすことが求められています。

PTA室にはネット環境がありません。学校のLANは使用許可ができませんでした。そのため2020年度からポケットWIFIの契約を行っています。

PTAから保護者へ直接連絡する手段がありません。現在は学校の協力を得てツイタもんにて一部配信しておりますが学校を介していることなどから迅速性や頻度に制限があります。PTAから直接保護者の皆さんに連絡するツールを検討中です。他校の例からLINE公式アカウントの作成やグループウェア(サイボウズなど)の導入を検討中です。

<ディスカッションポイント>

- ・ICT化の推進はどのように行うか
- ・連絡手段をどのように構築すればいいか
(他校の例からLINE公式アカウントやグループウェアの導入、ツイタもんの使用は学校と協議中)

⑥家庭学級委員の企画について

家庭学級委員の企画について。
講演会・手芸や工作などの講習会が企画され保護者の中から参加者を募って運営されています。
吹田市の事業の一環であり補助金により運営されています。
PTA会費が使われているという事実はありません。
企画運営には多大な労力が使われていますが参加者は多くは無いようです。
ご指摘いただいているようにPTAでの企画、運営が必要なのか。議論は必要だと思います。

<ディスカッションポイント>

- ・家庭学級委員会の今後(発展的前進か廃止か)

⑦パトロールについて

年2回のパトロールをお願いしています。ご一緒する方と連絡をとり時間を合わせて。という作業が負担と感じるという意見も複数ありました。昨年在全市一斉パトロールでは校区内の危険個所をWeb上で共有する取り組みを試験的に行っています。パトロールのやり方、情報共有のやり方などは柔軟にやりやすい方法を検討してもいいかもしれません。
今年度、路上駐車が子供たちの安全を脅かしているという保護者からの情報を自治会と共有することで行政に対して要望頂き危険個所に注意喚起を促す横断幕が設置されました。

<ディスカッションポイント>

- ・自由度が高く負担なく参加できる方法も検討
- ・地域の方々(自治会)との連携